

日中友好新聞

府連通信

2014年6月号
 日本中国友好協会大阪府連合会
 〒530-0012
 大阪市北区
 芝田2-3-19
 東洋ビル本館207
 TEL06-6372-8131
 050-3413-6491
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:jcfa@j
 t8.so-net.ne.jp
 ホームページ
 http://www005.u
 pj.so-net.ne.jp
 /jcfaosaka/

中国語講座開講100期記念講演会

『漢語とは何か？本質と学び方』

五月二五日の講演会では「中
 国語とは何か？」をテーマに、
 孤立語であることで、
 下定雅弘岡山大学名誉教授が、
 漢語は単純さと曖昧
 漢語についてその本質と学び方
 さの二つの大きな特
 を、資料を使って講演されまし
 性を持っている。さ
 た。参加は四三名でした。

「本質は孤立語で単音節で、
 語と語の関係を決める助詞・助
 動詞等が発達しているわけでも
 ないただ語順によって、語の品
 詞機能と文中の位置で文の意味
 を覚えることが大切」と強調さ
 れました。



「勉強不足を感じまし
 た。文・短文を覚える
 ように努力いたします」
 「中国語の文法がよく
 わからなかったのです
 が確立されていません
 とが理解できました。
 人民日報読んでみます」
 「中国語の単純さと奥
 深さがわかった気がし
 ます」必要性をつくる
 ことが大事になるほ
 どです。等々が寄せら
 れています。

日本軍の中国全土への侵略は

七月七日の盧溝橋事件から

盧溝橋事件勃発の日・七月七
 日午後六時から西区・地下鉄九
 条駅前で、不再戦平和の宣伝行
 動を行います。参加を待ち
 ています。1931年九月十
 八日に中国・瀋陽郊外の鉄道線
 路を日本軍が爆破し、これを中
 国軍のしわざとした柳条湖事件
 をきっかけに日本は中国東北部
 を占領し、事実上自分たちが支



府の責任の明確化
 と謝罪を求める声
 が続いています。
 戦争は2000万
 人をこえるアジア
 諸国民を犠牲にし、
 1941年以降は
 太平洋地域にも拡
 大され、空襲、沖
 縄戦、原爆をふくめ、310万
 人をこえる日本国民が犠牲とな
 りました。この日中全面戦争の
 発火点が七月七日の「盧溝橋事
 件」でした。

西支部・平和の旅3000キロに初参加 旧日本軍の残虐非道を確認しショック

五月九日から西支部・平和の
 旅に参加しました。「ハルピン
 から方正、ジャムス、牡丹江、
 東寧、長春と車と寝台車で、約
 3000kmの旅」をガイドし
 てくれた通訳の曹さん。苦労に
 すべてに深い感銘を受けました。
 それらの恩を忘れることなく
 戦後何度も現地を訪ね、民間レ
 ベルでの友好の努力を尽くされ
 た。苦勞にすべてに深い感銘を受けました。



余談ながら今回の
 旅の一部ではあると
 思いますが中国人の
 早口・大声・けんか
 腰の会話、前に人が
 いて邪魔になるとき
 声をかけずに押しよ
 ける。人が見ていよ
 うが平気で街中の道
 路などにごみを散ら
 かす・極めて道徳
 が低いと期待があつた
 だけに閉口しました。

今回訪ね見学した
 すべてで旧日本軍の行った残虐
 非道を改めて確認しショックも
 感じ、同時にソ連参戦後関東軍
 にも見捨てられ絶望
 的状況の中で、生存
 への強い思いで必死
 に帰国への努力も空
 しく、亡くなられた
 多くの方々、何とか
 無事帰国できた方、
 そして残留婦人や残
 留孤児にわが子や家
 族のように、人間愛
 に満ちた救いの手を
 差し伸べた中国人養
 父母の存在。



てもどんなことが
 あっても反戦平和
 の姿勢だけはしつ
 かりと堅持して、
 平和を愛する多く
 の人たちとすっか
 り団結し、たくさ
 ん学ばなければな
 らないと決意を新
 たにできました。
 (小玉利生)
 写真集と感想文集
 を作成中です。

府連定例研究会第2シリーズ

領土・歴史問題を掘り下げる

第二シリーズ「領土問題・歴史」と結びました。

史問題を掘り下げる」の第一回 については、中国近
研究会が、五月十八日(日)大現代史研究者の齊藤道彦
阪原水協事務所を会場に二十名 氏による『尖閣問題総論』
が参加して開催されました。

渡辺武(府連会長)さんが、2014年)の検証に説
「井上清」新版 尖閣 列島 得性があると強調されま
釣魚諸島の史的解明」を読む」
と題して報告を担当しました。

報告では、「尖閣・中国領土論」 ピーゴネン・井上清批判」
を展開する井上清氏の論理と実 中央大学論集」三五号は府連事務
証を丁寧に紹介した上で、 歴 所にPDFがあり、請求あれば
史資料の読み方に独断や誇張が 会員に送付します)。
散見され、「尖閣・中国領土論」 しては、斎藤氏による「エビゴ



に日清戦争前後
の全体状況を日
本側外交文書の
みならず、日本
(沖縄含む)中
国の現代史研究
の総体の中で解
明する必要有り、
など活発な議論
が交わされまし
た。また、現今
の情勢を冷静に

という彼の政治的主張が先行し
ている、日清戦争を中心とす
る近現代史に関わる論点につい
てはなお批判的検討の余地があ
治的解決の道を塞ぐもの、とく
れま。 (山本恒人)

第37回 全大阪きりえ美術展

八七名の出品、六〇〇名が鑑賞

『第37回全大阪きりえ美術展』は、「エル・おおさか」で、五月三〇日から六月四日の間、開催しました。

八七名の出品で、六〇〇名
近くの方に見ていただきまし
た。
新しく六名の出品があり、
広がってはいますが、それぞ



きりえで創る
夏のうちわ講習会
六月二五日(水)
午後一時〜九時まで
日中文化センター
205号教室
講師：稲田雪男さん
会費：1000円
(資料代を含む)

昨年のうちわはカワセミ、今年はハイビスカス

映画「望郷の鐘」 秋に東京で上映 映画監督 山田 火砂子さんが訴え

何故今、満蒙開拓団の映画か？ 以前に作ったDVDを販売して
日本が昭和二十年八月十五日に第 二次世界大戦に負けた事は、ほと
んどの方が知っていると云います。
昭和二十年三月の東京大空襲、八
月六日・九日と広島・長崎と原子
爆弾を落とされ、戦争に負けまし
た。なのにその昭和二十年五月一
日長野県より、東京は六月末に、
その他の県からも中国大陸の満州
に疎開と称して出かける日本民族
：知らないという事は恐ろしい事
です。満州に行けば平和がまつて
いるという話に乗せられて出かけ
ていきました。

その行った方々ほとんどの方々
は亡くなりました。死ぬために出
かけていく死の旅に：知っていた
ら行く人はいません。福島原発
も絶対安全と言ってますが、本当
に安全なのでしょうが？ しっかり
自分の目を開いて、自分の子や孫
に迷惑がかからないようにと思っ
てます。
又「遠くの親戚より近くの他人」
という昔からある言葉のように、
近くの中国とは仲良くして頂き
たいと思ひ、この映画を製作致し
ます。今満州に疎開したと言っ
た笑話です。原発は、安全だと信
じたのよ。と言って、五十年後に
笑い話にならないようにと思いま
す。この映画製作の為に協力券や



太極拳教室開講 100期記念
みんなで作ろう楽しい文化祭
日時：7月27日(日) 12:30開演
大阪市立北区民センター

(JR環状線天満駅西、地下鉄扇町2-B出口北へすぐ)
太極拳だけでなく歌、中国語スピーチ、踊り、手品、
ミュージカル、寸劇。きりえ、書、画の作品展示等
問合せは日中友好協会大阪府連へ 6372-8131

第60回大阪府連大会
7月13日(日) 13:30~
社会福祉指導センター
地下鉄「谷六」下車南へ